



発注図を開くガイド編

〔発注図を開くガイド〕の機能について概要と使用手順を説明します。

※解説内容がオプションプログラムの説明である場合があります。ご了承ください。

目次

発注図を開くガイド編

1. [発注図を開くガイド] の概要	1
1-1 特徴 (利点)	1
1-2 各機能紹介	1
2. 発注図 (平面図) を開く	2
3. 発注図 (横断図) を開く	6
4. 発注図 (縦断図) を開く	10
5. 補足 【武蔵Ver.18からの機能追加】	16
5-1 極小データを自動で拡大配置	16
5-2 取り込むページの選択が可能	16

1

【発注図を開くガイド】の概要

1-1 特徴（利点）

- 一連の流れでファイルの取り込みから用紙の設定、縮尺や原点を合わせることができます。
- 縮尺に応じて図面サイズを変更することができます。
- 縦断図で原点を補正することができ、3次元設計データや縦断線形の作業に役立ちます。

1-2 各機能紹介

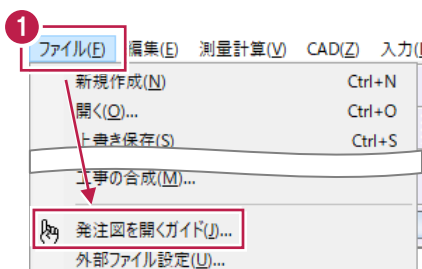
コマンドを実行すると画面左に各アイコンが表示されます。

用紙を決める	用紙を決める	用紙サイズを設定します。 [設定] — [用紙設定]
ファイルを開く	ファイルを開く	発注図ファイルを開きます。 [設定] — [外部ファイルを開く]
図面を指定する	図面を指定する	取り込む図面の種類を選択します。 選択する図面によって、縮尺、原点補正の設定が制限されます。 必要としない設定がディセーブル（非選択）になります。
縮尺を確認する	縮尺を確認する	距離のわかる図面上の2点を指定して縮尺を確認します。 [ツール] — [計測] — [2点間の距離方向角]
補正する	補正する	■縮尺を確認する 縮尺を合わせます。 [設定] — [縮尺追加] — [CAD指定] [データ編集] — [縮尺編集] — [縮尺編集] ■原点を補正する 原点を合わせます。 [データ編集] — [縮尺編集] — [縮尺編集]
縮尺を再確認する	縮尺を再確認する	補正した縮尺を再確認します。 [ツール] — [計測] — [2点間の距離方向角]
終了	終了	発注図を開くガイドを閉じます。

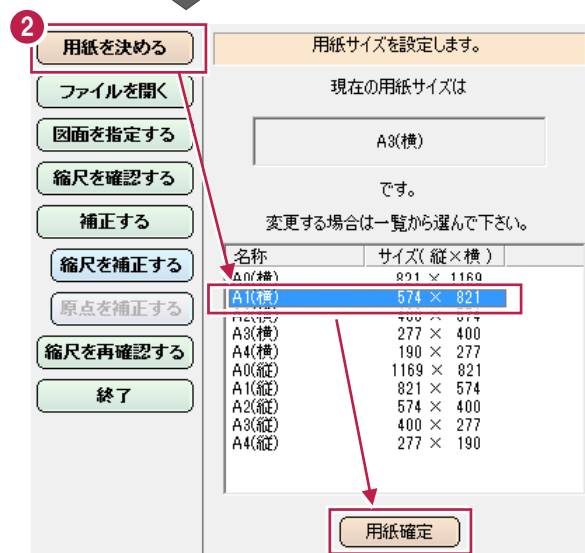
2

発注図（平面図）を開く

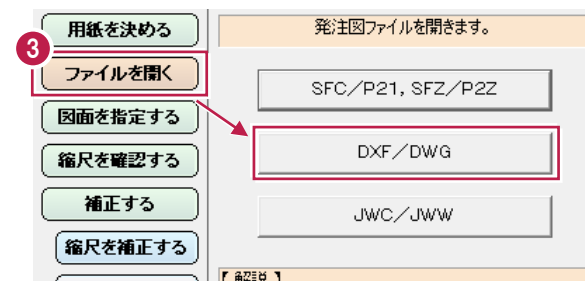
- ① [ファイル] - [発注図を開くガイド] をクリックします。



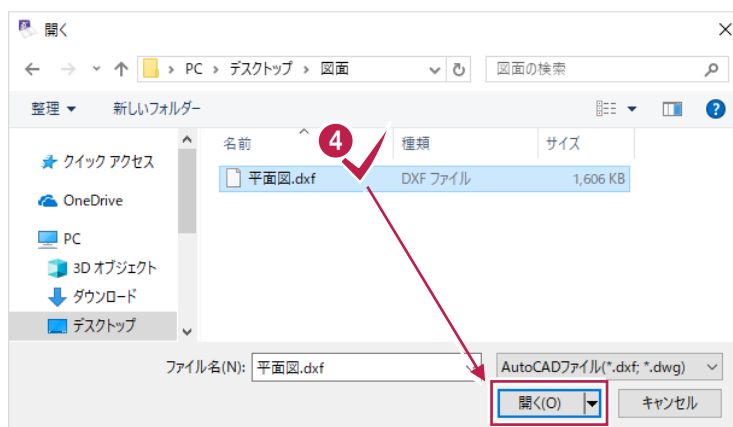
- ② 左にガイドバーが表示されます。ガイドバーの上から順に作業を行います。サイズや縮尺、座標系などを合わせたり、選んだ用紙に入るように調整したりすることができます。[用紙を決める] をクリックして、用紙サイズを指定し、[用紙確定] をクリックします。（用紙サイズは図面読み込み後にも変更できます。）



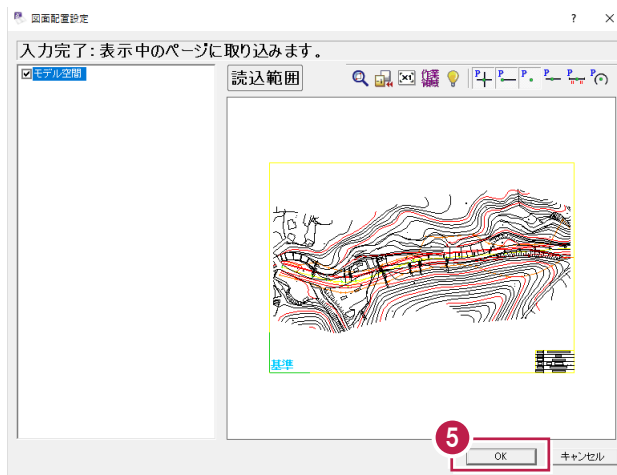
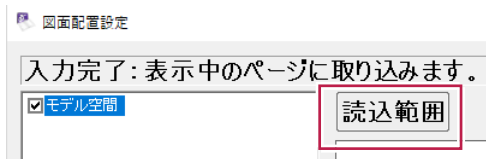
- ③ [ファイルを開く] をクリックし、読み込む図面の種類をクリックします。



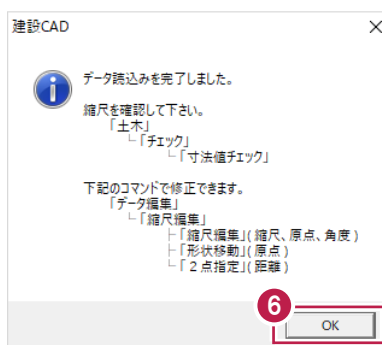
- ④ 読み込む図面ファイルを指定して [開く] をクリックします。



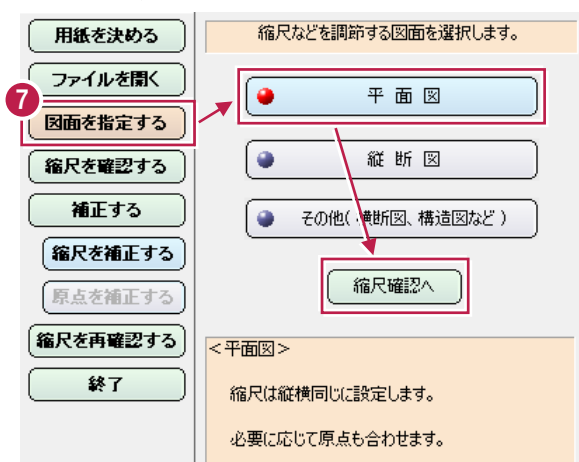
- 5 読み込む図面の内容を確認して [OK] をクリックします。
 (表示されている図面の一部を読み込む場合は [読込範囲] で範囲を指定します。)



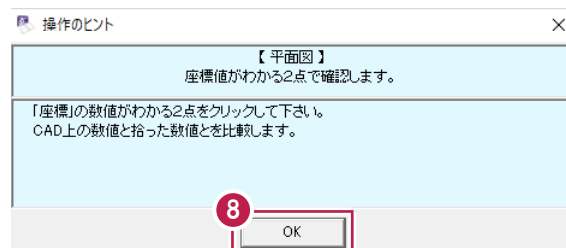
- 6 [OK] をクリックします。



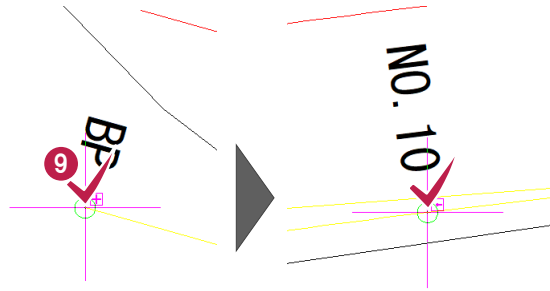
- 7 開いた図面の種類を選択します。
 [図面を指定する] をクリックして [平面図] [縮尺確認へ] をクリックします。



- 8 [OK] をクリックします。



- 9 図面上の座標値が分かっている2点をクリックします。



- 10 【図面から取得する値】欄に本来の座標値が表示されていない場合は【縮尺補正へ】をクリックします。

【平面図】座標値がわかる2点で確認します。

座標 距離

【図面から取得する値】

	X座標	Y座標
点1	0.278 m	0.033 m
点2	0.300 m	0.419 m

10 縮尺補正へ

【解説】

2点とも本来の座標値が表示されている場合は、以降の手順は不要です。

原点・縮尺共に合っています。

- 11 【OK】をクリックします。
9 で2点は指定済みなので、座標値の入力に移ります。

操作のヒント

【平面図】縮尺を調節します。

「座標」の数値がわかる2点をクリックして下さい。
「縮尺確認」で指定済みなら、実際の座標値をボックスに入力して下さい。
「点」ボタンを押すと、指定点付近を拡大表示します。
「座標一覧から取得」がオンの時、登録済みの座標値から入力できます。
「CADから取得」がオンの時、CAD上の数字を入力できます。

11 OK

- 12 9 で指定した2点の座標値をそれぞれ入力して【座標確定】をクリックします。

【平面図】縮尺を調節します。

座標 距離

【入力する座標値】

座標一覧から取得 CADから取得

	X座標	Y座標
点1	-116079.411 m	-83131.082 m
点2	-115906.838 m	-83043.954 m

12 座標確定

【設定する縮尺】

縮尺名称 モデル空間 1/1

縮尺 1 / 500 計測値 1/500

原点X座標 -116163.390 m

原点Y座標 -83019.015 m

回転角 60.0000 度

<対象> 文字 マーク 矢印

13 縮尺確定

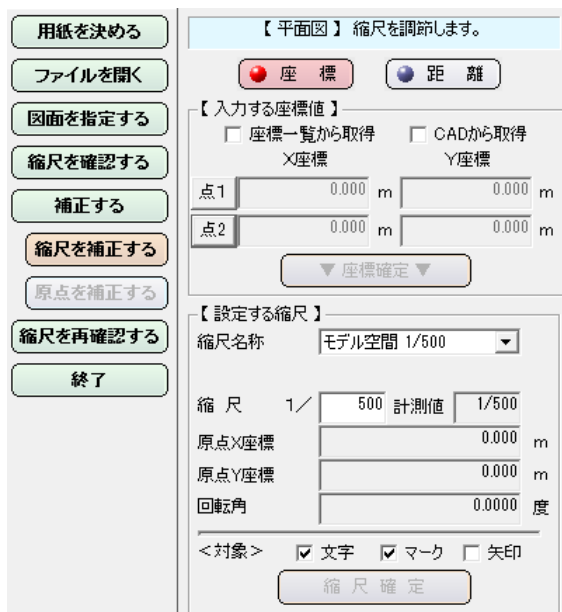
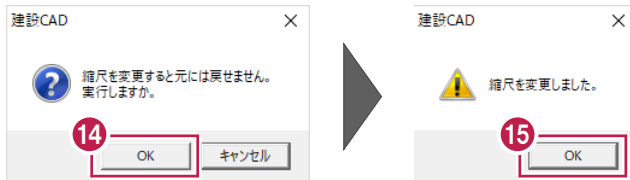
現状の縮尺が【計測値】に表示されます。

縮尺がない場合は、手入力してください。

- 13 【縮尺】が「1/500」になっていることを確認して【縮尺確定】をクリックします。

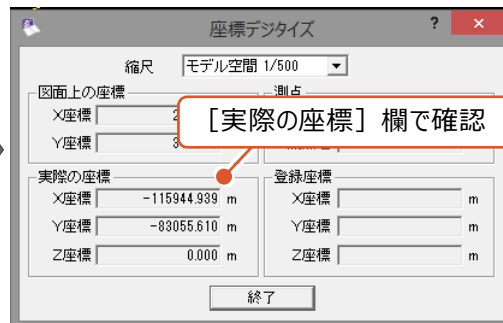
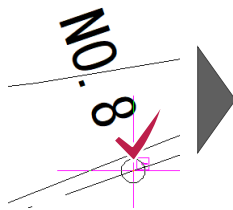
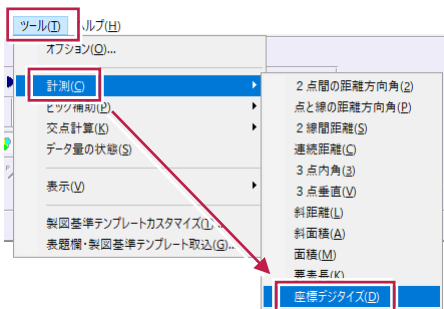
14 [OK] をクリックします。

15 [OK] をクリックします。
確認・変更作業終了です。



補足 座標値等の確認について

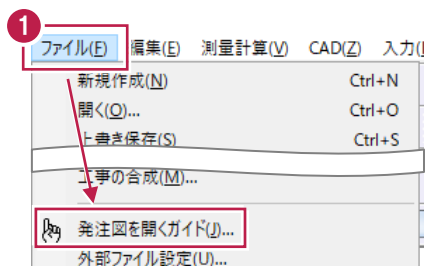
[ツール] - [計測] - [座標デジタイズ] を使用すると、クリック位置の座標値を確認することができます。



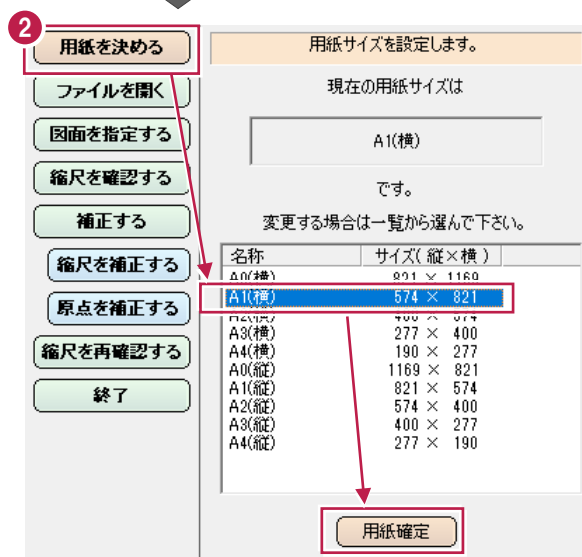
3

発注図（横断図）を開く

① [ファイル] - [発注図を開くガイド] をクリックします。



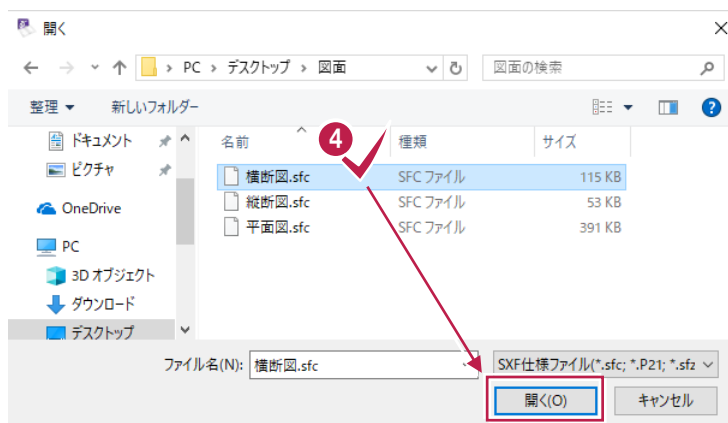
② 左にガイドバーが表示されます。ガイドバーの上から順に作業を行います。サイズや縮尺、座標系などを合わせたり、選んだ用紙に入っているように調整したりすることができます。[用紙を決める] をクリックして、用紙サイズを指定し、[用紙確定] をクリックします。（用紙サイズは図面読み込み後にも変更できます。）



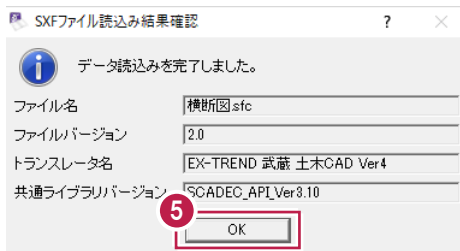
③ [ファイルを開く] をクリックして、読み込む図面の種類をクリックします。



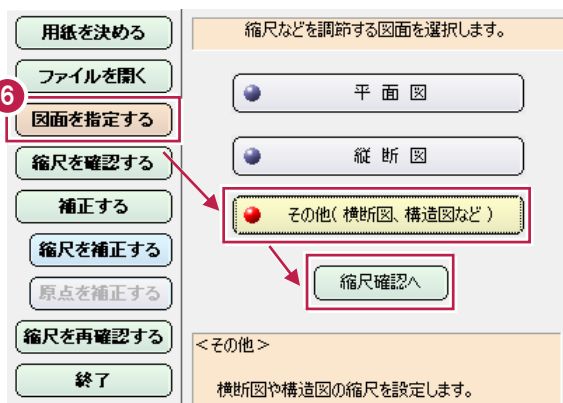
④ 読み込む図面ファイルを指定して [開く] をクリックします。



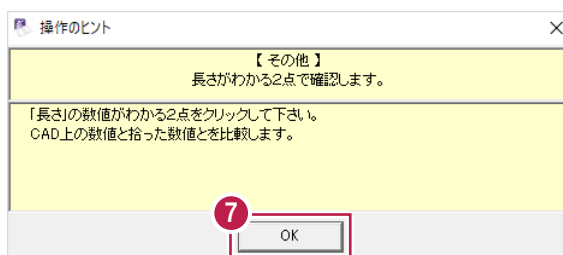
5 [OK] をクリックします。



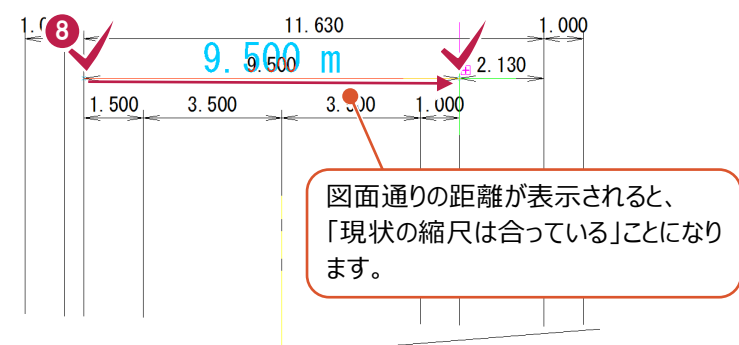
6 開いた図面の種類を選択します。
[図面を指定する] をクリックして [その他
(横断面図、構造図など)] [縮尺確認へ]
をクリックします。



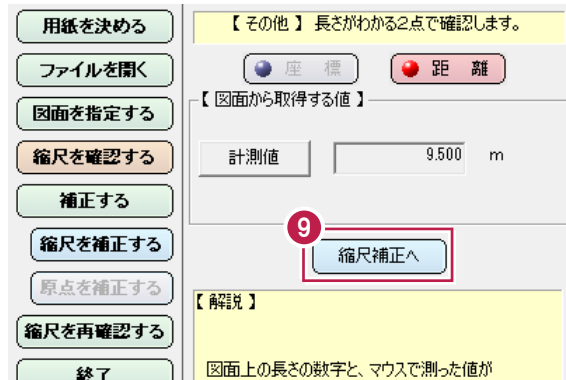
7 [OK] をクリックします。



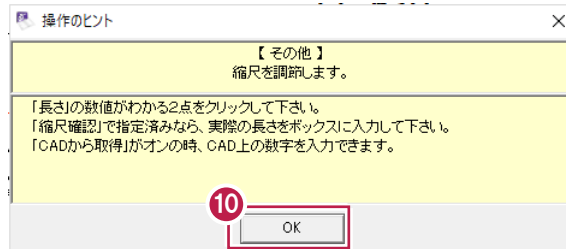
8 水平距離の寸法線の矢印間などクリックして
表示される距離を確認します。
端数のない寸法値を指定することをお勧めし
ます。
(右例は「縮尺が合っている図面」ということにな
ります。)



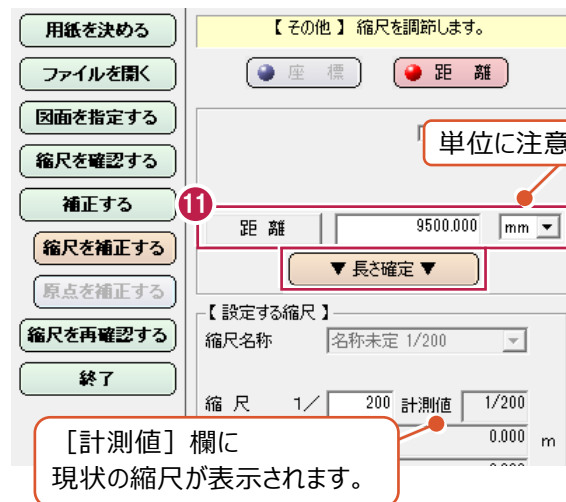
- 9 縮尺を変更する作業に移ります。
 [縮尺補正へ] をクリックします。



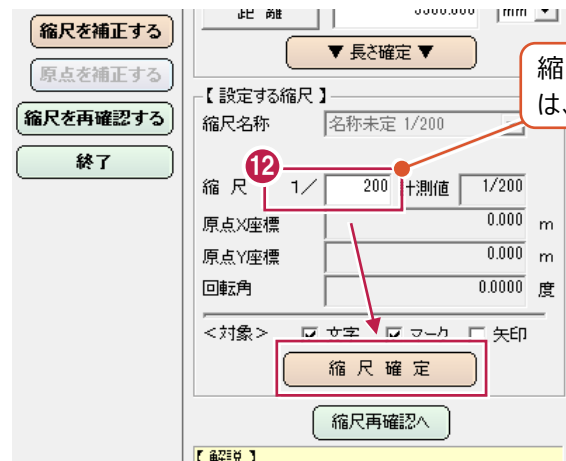
- 10 [OK] をクリックします。
 8 で 2 点は指定済みなので、実際の長さを入力します。



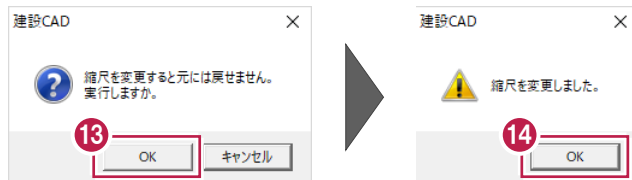
- 11 [距離] 欄に図示されている寸法通りの距離を入力して [▼長さ確定▼] をクリックします。



- 12 [縮尺] が「1/200」になっていることを確認して [縮尺確定] をクリックします。

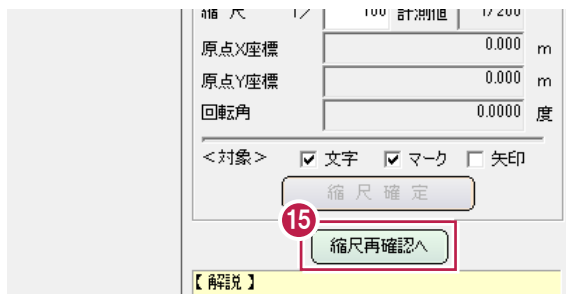


13 [OK] をクリックします。

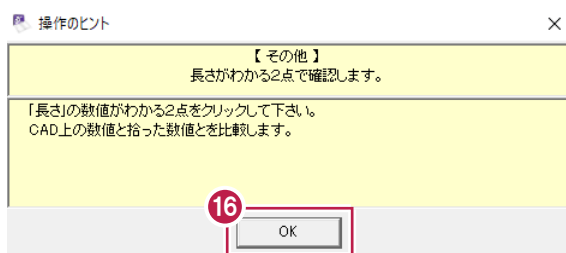


14 [OK] をクリックします。

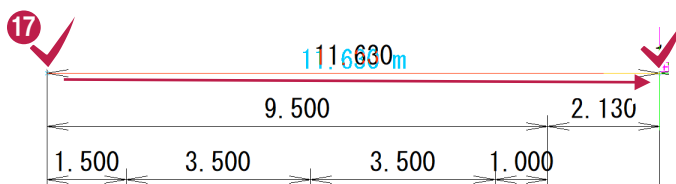
15 設定後の図面の点間距離を確認します。
[縮尺再確認へ] をクリックします。



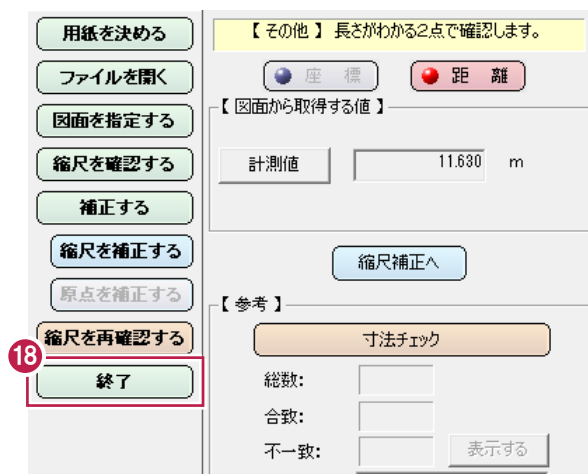
16 [OK] をクリックします。



17 8 と同様に寸法値通りの距離が表示されるかを確認します。
本来の値が表示されない場合は [縮尺補正へ] から設定をやりなおします。



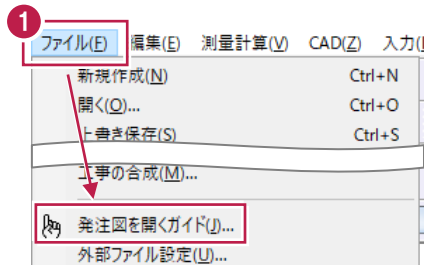
18 確認作業を終えたら [終了] をクリックして [発注図を開くガイド] を閉じます。



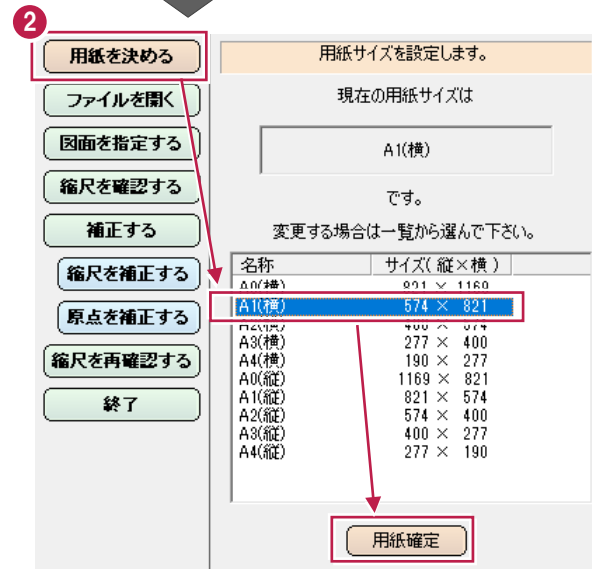
4

発注図（縦断図）を開く

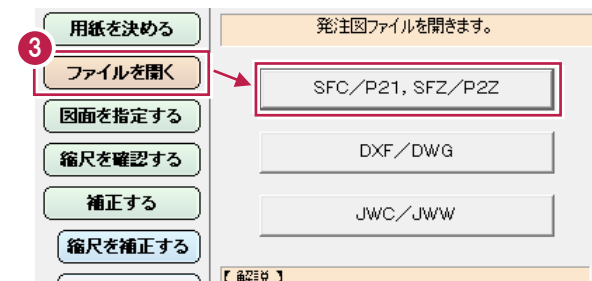
- ① [ファイル] - [発注図を開くガイド] をクリックします。



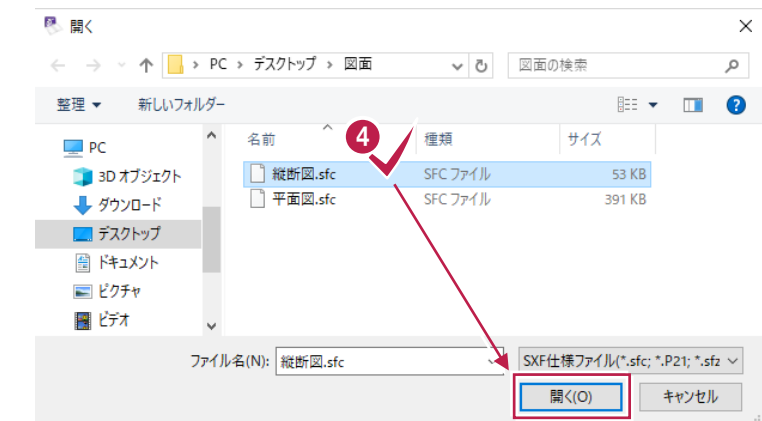
- ② 左にガイドバーが表示されます。ガイドバーの上から順に作業を行います。サイズや縮尺、座標系などを合わせたり、選んだ用紙に入るように調整したりすることができます。[用紙を決める] をクリックして、用紙サイズを指定し、[用紙確定] をクリックします。（用紙サイズは図面読み込み後にも変更できます。）



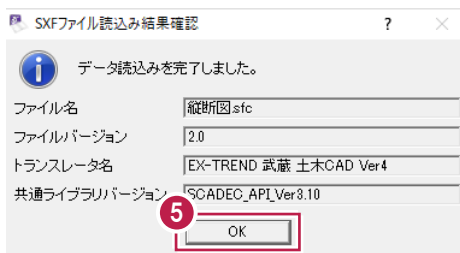
- ③ [ファイルを開く] をクリックし、読み込む図面の種類をクリックします。



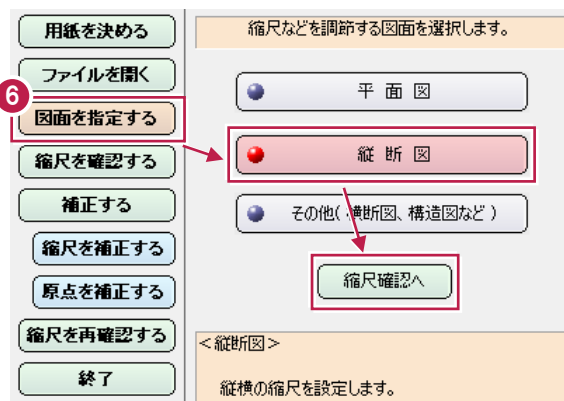
- ④ 読み込む図面ファイルを指定して [開く] をクリックします。



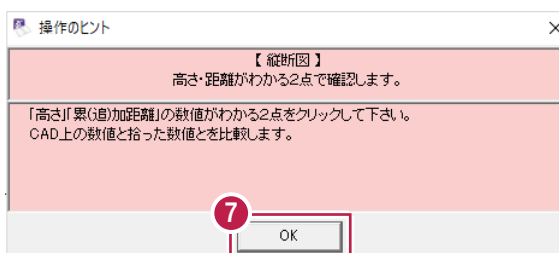
5 [OK] をクリックします。



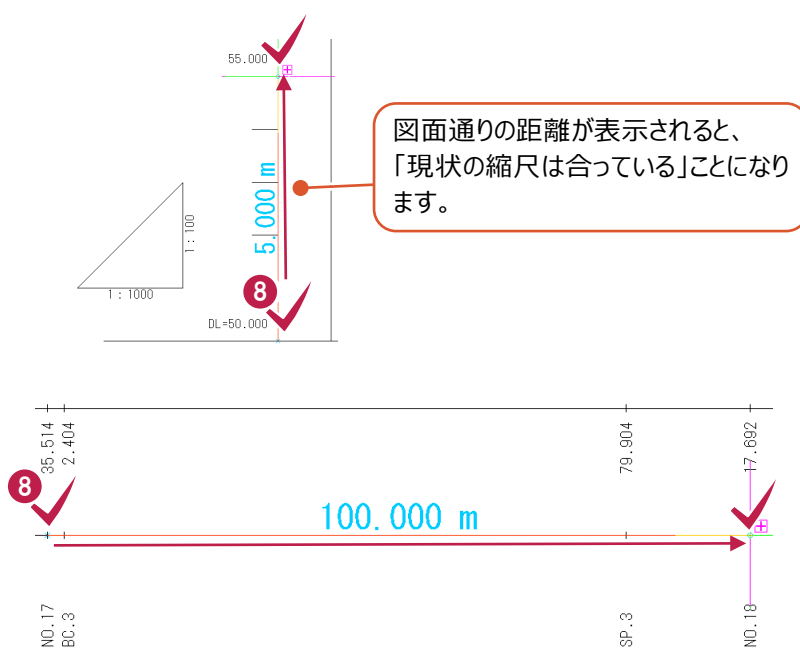
6 開いた図面の種類を選択します。
[図面を指定する] をクリックして [縦断面図]
[縮尺確認へ] をクリックします。



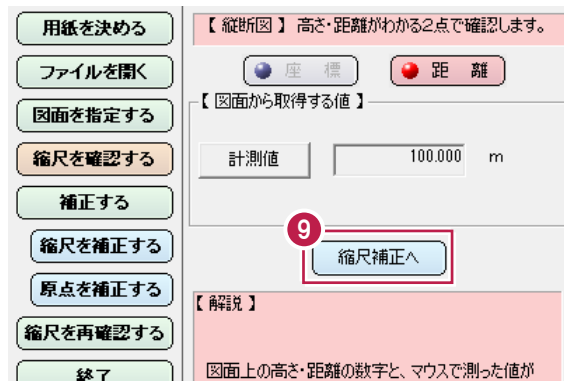
7 [OK] をクリックします。



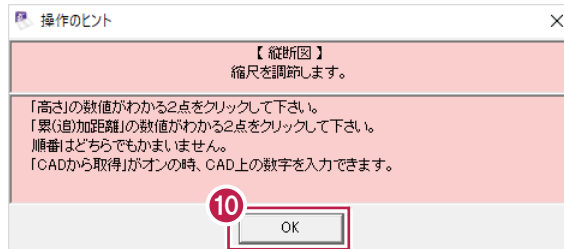
8 縦目盛間や単距離（追加距離）間をクリックして表示される距離を確認します。
(右例は「縮尺が合っている図面」ということになります。)



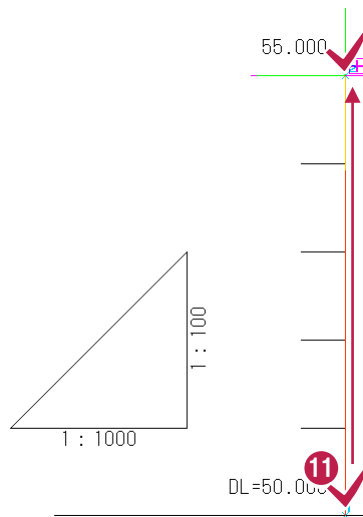
- 9 縮尺を変更する作業に移ります。
[縮尺補正へ] をクリックします。



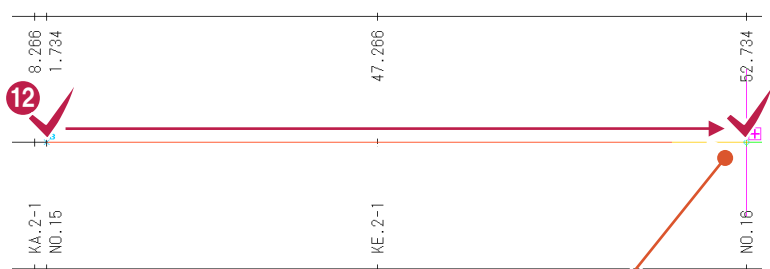
- 10 [OK] をクリックします。
「水平方向」「垂直方向」で、縮尺確認をおこないます。



- 11 縦目盛上で 2 点をクリックします。



- 12 帯上の単距離（追加距離）欄にある縦線の位置を 2 箇所クリックします。
(測点間の 20m のように端数のない距離を指定することをお勧めします。)

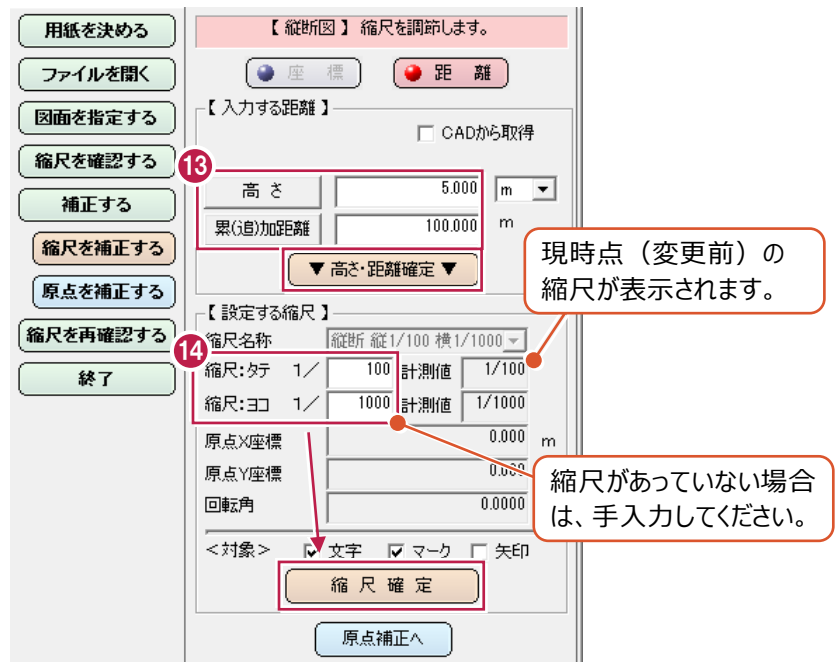


※ 11 と 12 の手順はどちらが先でも構いません。

短い縦線と帯の横線の
交点をピックします。

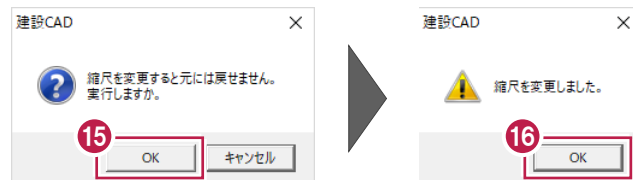
- 13 11 と 12 で指定した点間距離を [高さ] [累 (追) 加距離] 欄に入力して [高さ・距離指定] をクリックします。

- 14 [縮尺:タテ] が「1/100」、[縮尺:ヨコ] が「1/1000」になっていることを確認して [縮尺確定] をクリックします。

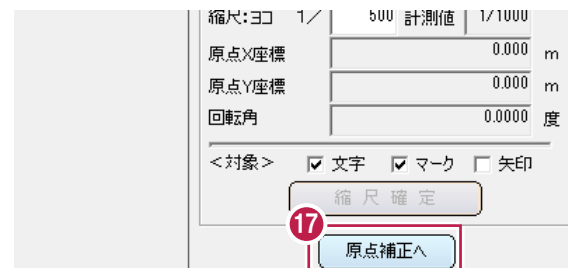


- 15 [OK] をクリックします。

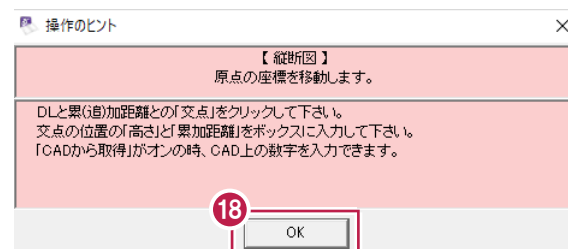
- 16 [OK] をクリックします。



- 17 次に「原点」の補正をおこないます。「原点」を調整すると [測量計算] - [縦断線形] や [3次元設計データ作成] を作業する場合に入力データと図面を重ね合わせて確認することができます。
[原点補正へ] をクリックします。
(不要な場合は 23 から操作してください。)



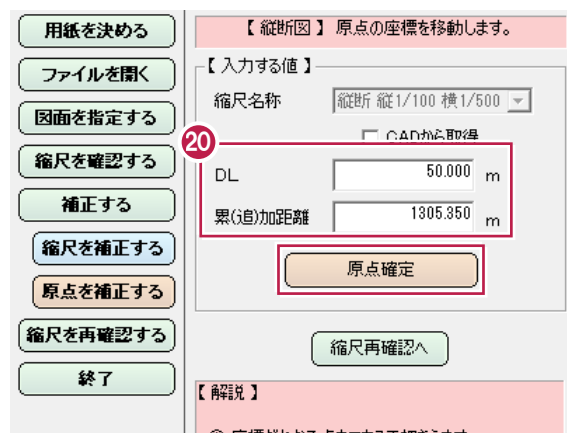
- 18 [OK] をクリックします。



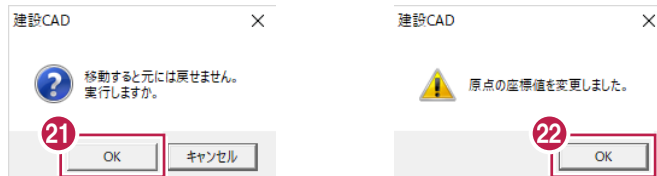
- 19 高さがわかる水平線と、追加距離がわかる垂直線の交点をクリックします。
 (高さや追加距離を同時に指定できる箇所をクリックします。)



- 20 19 でクリックした位置の高さと追加距離を [DL] 欄、[累(追)加距離] 欄に入力して [原点確定] をクリックします。

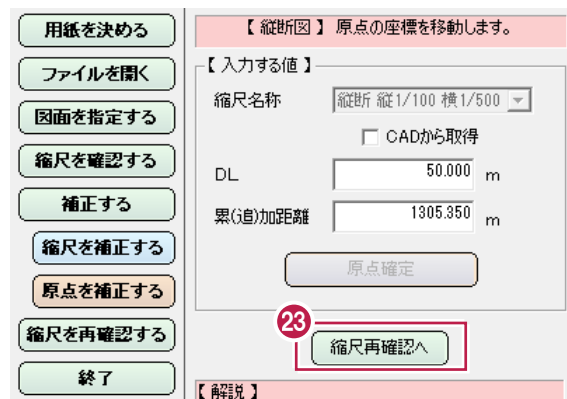


- 21 [OK] をクリックします。

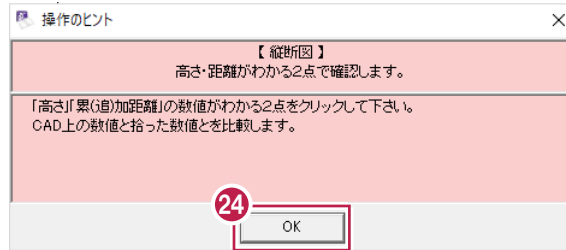


- 22 [OK] をクリックします。
 (図面の見た目は変更ないが、原点情報は更新されます。)

- 23 設定後の図面の点間距離を確認します。[縮尺再確認へ] をクリックします。

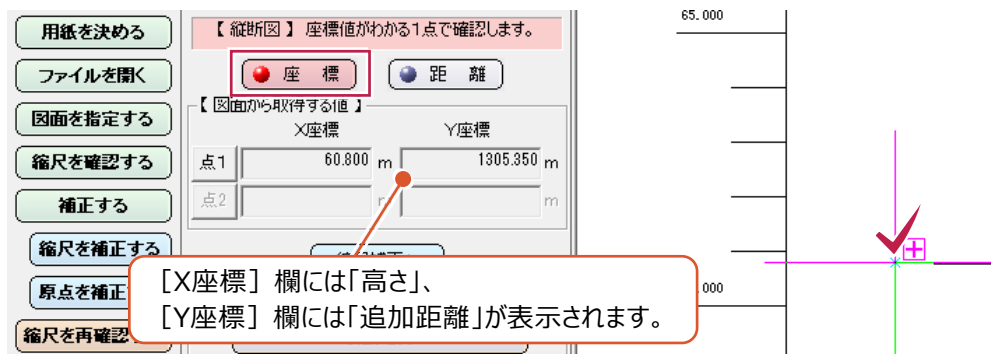
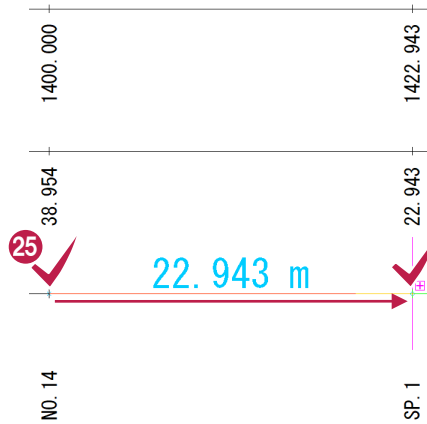


24 [OK] をクリックします。

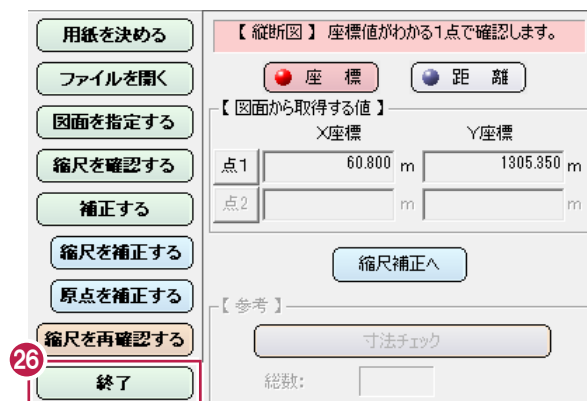


25 11 と 12 で指定していない 2 点間を指定し、表示される距離が本来のものであるかを確認します。

17 で [原点補正] を設定していた場合は [座標] を ON にすると「縦断図上でクリックした位置の高さと追加距離」を確認できます。本来の値が表示されない場合は [縮尺補正へ] から設定をやりなおします。



26 確認を終えたら [終了] をクリックして [発注図を開くガイド] を閉じます。

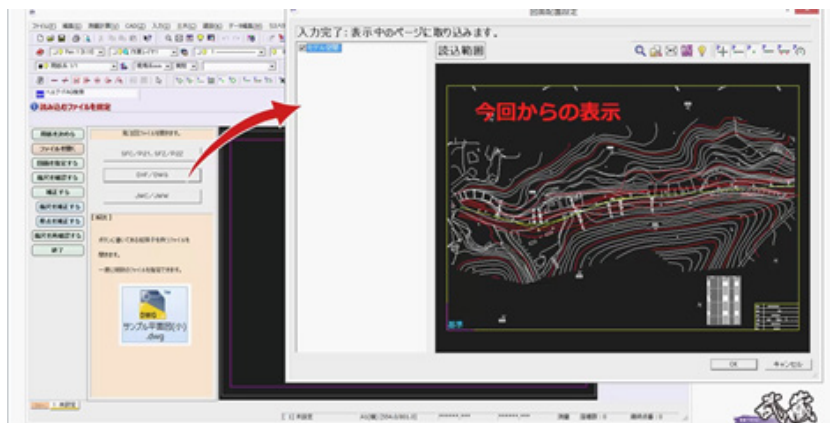


5

補足【武蔵 Ver.18 からの機能追加】

5-1 極小データを自動で拡大配置

図面がどこにあるか分からない極小サイズのデータや、原図領域から遠く外れているため見えないデータの場合があります。前回までは小さく表示されていたのですが、Ver.18からは、自動で拡大できるようになりました。



5-2 取り込むページの選択が可能

1ファイル内に複数の図面が格納されているようなデータの場合があります。前回まではすべて読み込んでからの作業でしたが、Ver.18からは予め必要なページのみ選択して読み込みが可能です。

